

「見て」「聞いて」「感じて」自分を守る。家族を守る。

ハカルワカル広場 上映会 開催

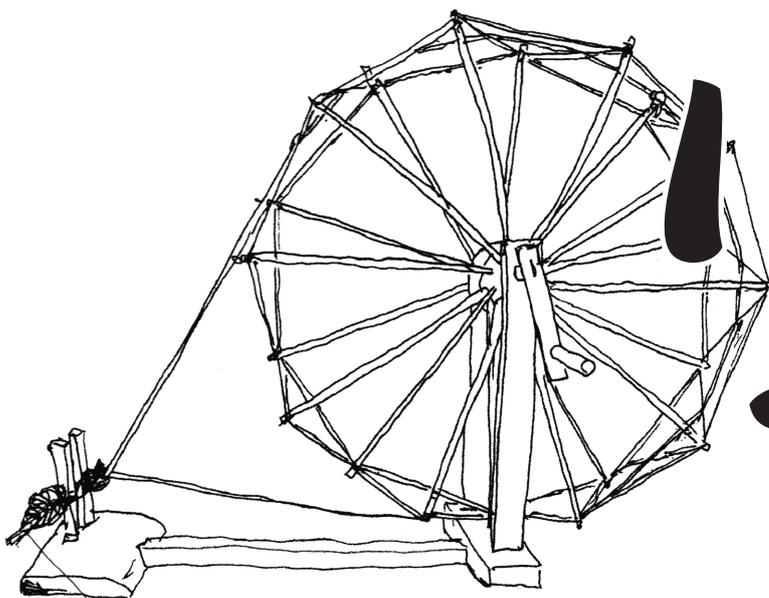
第17回

『福島 六ヶ所 未来への伝言』の島田恵しまだ けい監督第二作

# エ キ ル カ カ

（未来を紡ぐ糸車）

捨てる場は何処に  
核のゴミ  
10万年危険な



12月2日（土）お茶会

10:00~12:00

参加費：500円



八王子市民放射能測定室

ハカルワカル広場

## 映画「チャルカ ～未来を紡ぐ糸車～」制作にあたって

「チャルカ」とはインドの手紡ぎ機「糸車」のことです。  
「巡る因果は糸車」と例えられる仏教の教えは、自分のした行いは、良いことも悪いこともやがて自分に返ってくるといわれるものです。  
私たちが体験している悲惨な原発事故も、人間の過去の行いが巡り戻ってきたと考えられるかもしれません。しかし、そうであるならば、私たちは今どう生きて未来へと繋げていくか…。  
何十万年という単位で残る「核のゴミ」。これもまた、人類が刈り取らなければならないものです。私たちが自分たちの手で新しい未来を紡ぐことができます。  
すでにその道を歩き始めている人たちは大勢います。  
この映画が、あなたの生き方を紡ぐチャルカとなりますように。

島田 恵

### プロフィール

島田 恵 (しまだ けい)



1959年東京生まれ。写真雑誌社、スタジオ写真などを経てフリーの写真家に。1986年のチェルノブイリ原発事故後初めて六ヶ所村を訪れ、核燃問題で揺れる村に衝撃を受け取材を始める。1990年から2002年までは六ヶ所村に在住。2011年から映画制作を開始し、2013年「福島 六ヶ所 未来への伝言」を完成。2014年度キネマ旬報文化映画部門7位にランクインする。2001年に写真集「六ヶ所村 核燃基地のある村と人々」(高文研)で第7回平和・協同ジャーナリスト基金賞を受賞。著書に「いのちと核燃と六ヶ所村」(八月書館)がある。

### 核のゴミ(放射性廃棄物)とは

原発は使用済み核燃料を始め、日々大量の放射性廃棄物を生み出します。低レベル廃棄物は六ヶ所村の施設に埋設。再処理で発生する高レベル廃棄物も六ヶ所村の施設に一時的に保管されていますが、それらは10万年～100万年間人間から隔離が必要です。しかし、その方法も場所も決まっていません。日本はすでに広島型原爆の放射能120万発分(小出裕章さん)の核のゴミを保有しています。

ハカルワカル広場はボランティアと、  
維持会員の会費で運営されています。

八王子市民放射能測定室  
**ハカルワカル広場**

お電話 問合せ **042-686-0820**  
〒192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F

HP: <http://hachisoku.org> メール: [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com)  
【開室】火～土曜日:10時～15時

**ボランティア、維持会員募集中!**

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)、  
他行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)

**案内地図**

- 徒歩: JR八王子駅(北口)より約20分、京王八王子駅より約23分
- バス: JR八王子駅(6番～10番乗り場のバスならどれでも)、京王八王子駅(主に1番のりば、2,3番も少し)から約8分。「織物組合」下車、バスの進行方向(西八王子方向)に歩いて約1分
- 車: 国道20号 八幡町交差点より西八王子方面へ約100m  
※駐車場がありませんので近くのコインパーキングをご利用ください